

## これまでの市民参加推進会議からの引継ぎ課題について

|   | 主な引継ぎ課題                              | 市の対応状況  | 残された課題（事務局整理）                            |
|---|--------------------------------------|---|--|
| 1 | 参加者が多くなった工夫などを今後の市民参加の実施に役立ててほしい。    | 市民参加手続きマニュアルを改正し、これまでの優良事例をマニュアルの各所に盛り込んだ。  | 令和2年度市民参加の結果を受けて、新たに追加する事例があれば更新。        |
| 2 | 市民が参加しやすい工夫について、情報があまり発信されていない。      | 広報、Twitter・LINEを活用した情報発信を行っている。<br>（実態調査）<br>政策課が主催した包括連携協定調印式に参加された方（50名）へ「調印式の情報は何で知ったか」の実態調査を行った。「広報」「LINE」と答える方が多かった。LINEが市民への周知ツールとなったことがわかった。 | 市民が参加しやすい工夫について、情報発信に限らず検討。              |
| 3 | パブコメ結果などについてのフォローアップが不十分である。         | 統一したルールとしては、提出された意見及び最終案をHPで公表している。   | —  |
| 4 | 駅やカフェなど人が集まる場所を使って、市民参加を行ってはどうか。     | 公共施設以外での市民参加の開催は、場所利用経費等がかかるため難しい。しかし、市民参加の検討内容が、現場に出向いた方が議論が活発するようであれば、公共施設を問わない。  | —  |
| 5 | 市民も協力して市民参加の広報をすると新たな市民に拡がるのでは。      | —   | 委員をはじめ市民の方に市民参加の広報していただけるような体制を整えることの検討。 |
| 6 | インターネット会議などを活用することで参加しやすくなる市民もいるのでは。 | ZOOM等web会議を実施できるよう環境整備を行った。場合によっては、webで会議を行っている。  | —  |

|    | 主な引継ぎ課題                           | 市の対応状況   | 残された課題（事務局整理）                           |
|----|-----------------------------------|--|---|
| 7  | 事業の位置づけ等（定期的な計画改訂など）に相応しい市民参加の在り方 | 市民参加手続きマニュアルを改正し、市民参加の手法の選択に当たっての考慮事項を示した（p.5）。                                | -                                       |
| 8  | 市民参加に関する職員研修を充実させてほしい。            | 令和2年度：杉崎和久氏<br>「和光市における市民参加のバージョンアップに向けて」<br>令和3年度：中島達郎氏<br>「SDG s について」       | -                                       |
| 9  | ワークショップの活用を促すための方法を考えるべき。         | 市民参加マニュアル（p.21～）に主な取組にワークショップを位置付けた。   | -                                       |
| 10 | 金銭徴収関連についても、市民参加対象事項を広げること。       | 市民参加マニュアル（p.2）において、金銭徴収であっても、市民参加を実施することを検討する旨を明示している。                         | -                                       |
| 11 | 市民への影響が特に大きいものは、市民参加手法を2以上に義務づける。 | 市民参加マニュアル（p.3）に重要なものは複数手法の選択を明示している。<br>市民参加実施予定を各課所へ照会し回答されたものを政策課でチェックをしている。 | -                                       |
| 12 | 若い世代の市民参加の推進や地域等における市民参加リーダーの任命。  | 平成30年度に地域デザイナー養成塾の取組を行った。  | 平成30年度から3年が経過し、新規の市民参加リーダーを増やすための手法の検討。 |
| 13 | 学校における市民参加教育の推進。                  | 策定する計画に小・中学生が関係ある場合、アンケート調査にご協力をいただいている。アンケートの回答を通して、市民参加に対する意識を高めている。         | -                                       |